

## 二月よみとりおけいこ⑦（低）

### 名まえ（

二月の花といえば、ウメ。ということで今日はウメのおはなしです。

お花みといえはいまはサクラですが、むかしはサクラではなくウメの花をみるのがお花みだったそうです。

さむさにたえて、かわいらしくさくすがたはけなげですね。みる人の心にも、春のおとずれをつけてくれます。そして、あまいかおりはバラやスイセンとはまたちがうすてきなかおりです。まだかいだことがないという人はぜひクンクンしてみてください。

そして、むかしからウメは実も大せつにされてきました。みなさんもうめぼしを知っていますよね。塩だけでおいしくくれるのですからかんたんです。さいきはジツブロックでつけるやり方もあり、とてもおいしくつかるので、一どみなさんためしてみてはどうでしょう。白いごはんにびったりの、しかも体によいむかしからの一品です。

それから、「梅肉エキス」。これはウメのみをこすことにつめたもので、ものすごくすっぱいのですが、おながいたいときなどになるとよくきくすりでした。

CMでもやっていますが、うめしゅもつくることができます。みなさんはこどもなのでむことはできませんが、もしかするとこれを大すきなおうちの方がおられるかもしれませんね。うめジュースはさとうだけで作れます。

京都市内には北野天満宮や梅の宮神社、御所、植物園などウメの名所がありますが、少し市外に足をのばしてみると、青谷の梅林や月ヶ瀬の梅林などもあります。

古代人の気分を味わって、梅のお花見にでかけるのもいいかもしれませんよ。おんどくサインー

① なんのはなしでしょう？

② ウメから作れるけれど、みなさんがまだのめないものはなんですか？

③ ウメと塩でなにを作ることができますか？

④ ウメのみをにつめると何ができるのですか？

⑤ 梅肉エキスは何にきくのですか？

⑥ みなさんにもめる、ウメからできるものは？

⑦ うめジュースをつくるには梅以外になにがひつようですか？

⑧ ウメの花は見るだけでなくぜひどうしろとかいてありますか？

⑨ あじわえ（ ）かけ（ ）うめぼしを作れ

⑩ あつているものに○をつけましょう。

（ ） お花みはずつとサクラをみてきた。

（ ） うめぼしは白いごはんとあう。

（ ） ウメの花をにつめると梅肉エキスができる。

⑩ おもったことを五行でまとめましょう。

できればは？

